

災害ボランティアセンター運営訓練

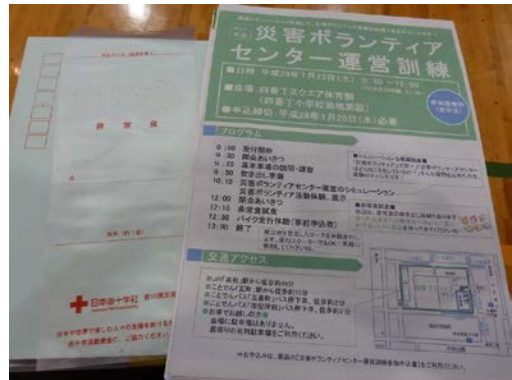
日時：平成28年1月23日（土）9：30～12：30

場所：四番丁スクエア体育館

主催：高松市

共催：社会福祉法人香川県社会福祉協議会

協力：香川大学危機管理研究センター、香川モーターサイクル防災機動ボランティア、たかまつ市民活動応援団、高松地方气象台、東北ボランティア有志の会香川、日本赤十字社香川県支部、社会福祉法人高松市社会福祉協議会（50音順）



内容：

9:30～9:33 開会あいさつ 高松市地域政策課 吉田

- ・この訓練は、2年前から実施。
- ・香川県社会福祉協議会が主体となって実施。香川県防災士会、高松气象台、東北ボランティアの会の方も参加。バイクの体験 香川モーターサイクル防災機動ボランティア。
- ・2年前に比べ、協力いただける団体が増えること、顔の見える関係が出来ていることを喜んでいる。
- ・怪我無く無事に終わることを祈っています。

9:33～9:49 基本事項の説明・講習 社会福祉協議会 地域福祉課 主事 廣瀬

○平成16年の水害

- ・水による被害と土砂による被害。
- ・死者3名、重軽傷者6名、床上浸水5, 877戸、床下浸水16, 088戸
- ・ボランティア参加者数 豊浜市（641名）

○災害ボランティア活動の参加者の特長

- ・アクセスの容易さ、ガソリン入手の困難さから、東北は難しかった。

○災害ボランティアセンターとは

- ・地元の社会福祉協議会等を中心に設置される。
- ・被災者の依頼内容（ニーズ）を把握し、ボランティアと被災者の調整を行う。
- ・地域の力の回復の度合いを見ながら、他者依存体質から自立助長へと調整力を発揮する。

○災害ボランティアセンターの運営

- ・地域住民のニーズを把握する「相談所の機能」、どんなボランティア活動があるかを案内する「案内所機能」

○災害ボランティアセンターの立ち上げ

- ・①～⑥

○徳島県那賀町での活動状況

- ・ニーズ票による被災者からのニーズ把握

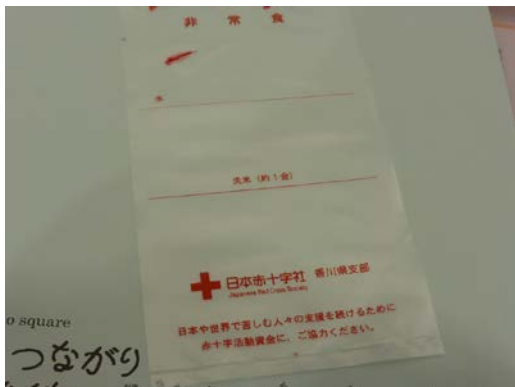
- ①ボランティア受付 団体か個人か、何日活動できるかなど
- ②マッチング
- ③オリエンテーション
- ④資機材を借りる 企業からも借りる
- ⑤現地での活動 力仕事だけでなく、被災者の見守り、話し相手といった活動もある。
- ⑥報告 支援先の活動が終了しているのか否か、新たなニーズは無いか、新たな支援が必要な地域や被災者がいないか などの掘り出しにつながる。

○本日体験いただく内容

- ・ ボランティア受付
- ・ ニーズ受付
- ・ オリエンテーション
- ・ ボランティア作業の体験

- ・ 炊き出し体験
- ・ バイク走行デモンストレーションの見学

9:49~10:00 炊き出し準備 おおたかさま



120gのお米を炊きあげるための袋
お米の量と水の量を示す線が印刷されています



お米と所定の量の水を入れ、空気を
抜き口を輪ゴムで止めます

10:00~11:47 災害ボランティアセンター運営シミュレーション 災害ボランティア活動体験

11:47~11:50 閉会あいさつ 地域福祉課長 そごうまさこ

- ・ 一昨年の訓練では雪。
- ・ 多くの関係機関、多くの参加者のもとで訓練が出来た。
- ・ ボランティアセンターの運営を体験いただき、顔の見える関係づくり
- ・ こんな訓練も大事だが、それぞれの地域でどう対応するのか、避難所の運営をどうするのか、ちゃんと意見交換、訓練が要るとの意見。
- ・ 地域で訓練し、それが本日のような訓練。また、地域で訓練が出来ないような地域では、地域や社会福祉協議会で考えていかねばならない。
- ・ 今日の訓練が、それぞれの地域での訓練につながっていければ、また、それぞれの地域の訓練が、今日のような全体での訓練につながればうれしい。

11:50～ 非常食試食



湯せんで30分間煮るとできあがり



1合弱のお米なのでおなかいっぱいになります